

地域への新たな公募型補助制度を検討

『地域コミュニティ活性化促進委員会』発足



新委員に委嘱状が交付されました

町民が自主的に行う地域活動を支援するため策定された「地域コミュニティ活性化計画」。

今年度はさらにその計画を推進していくため、公募委員と町職員で組織する「地域コミュニティ活性化促進委員会」が発足しました。



委員会では、今年度中に新たな公募型補助制度を創設し、平成26年度からその応募者の募集を行う予定です。

←「地域コミュニティ活性化計画」は町ホームページでご覧になれます。

とっても渡りやすくなりました
あおばの交差点に
押しボタン式信号機

あおば地区内のセブンイレブン前交差点に、押しボタン式信号機が設置され、11月11日から稼働しました。



あおばセブンイレブン前交差点

この交差点は朝夕の通勤時間帯の交通量が非常に多く、通学途中の小学生など、歩行者が東西路線を横断するのに非常に危険で、この信号機設置はあおば地区が長年要望してきたものでした。

いつも車が途切れるまで待って、やっと道路を渡っていた長崎小の児童は、「とっても安全で渡りやすい！」とうれしそうでした。

最上堰頭首工の改修工事始まる



大江町三郷地内の最上堰頭首工

中山町のほとんどの水田をうるおしている最上堰の農業用水。その農業用水は大江町三郷地内の最上堰頭首工から取水されています。

その頭首工は完成から40年以上が経過。コンクリート構造物の劣化が激しく、右岸法面が崩落しているなど早急な改修が必要となり、県では平成28年度の完成を目指して改修工事を行うこととなりました。

11月22日には工事の安全祈願祭が行われ、県、最上堰土地改良区、中山町ほか市町関係者が出席し、工事の安全を祈りました。

冬期間の火災・災害に備えて
冬期日中常備消防開署



これからの季節は寒さが厳しくなり、火を取り扱う機会が多くなります。

火災が発生しやすい季節になり、町内にいる消防団員が少なくなる昼間の消防力の低下を補うため、今シーズンも12月1日から3月10日まで、冬期日中常備消防隊を設置します。

9名の隊員が午前8時30分から午後6時30分まで、常時5人体制となるように交代で勤務します（日曜日と1月1日から3日を除く）。



来年秋、全国消防操法大会に出場します!!

(写真 後列左から) 五十嵐聡志さん(2-1)、東海林克さん(2-1)、渡辺裕也さん(4-3)、今野勝敏さん(4-3)、樋口祐一さん(4-3)、浅倉慶彦さん(2-2)、丸子良太さん(2-2)、齋藤泰史さん(2-1)、浦山大介さん(3-1)
(写真 前列左から) 鈴木勝則さん(2-2)、高橋想磨さん(4-3)、西塔副団長、秋葉団長、森谷副町長、鈴木副団長、石沢卓さん(3-1)

※「2-1」は第2分団第1部を省略したものです。
2-1…達磨寺・向新田 2-2…新田町・上町・元町・新町 3-1…中町・柳町・旭町・川端・下川ほか
4-3…土橋

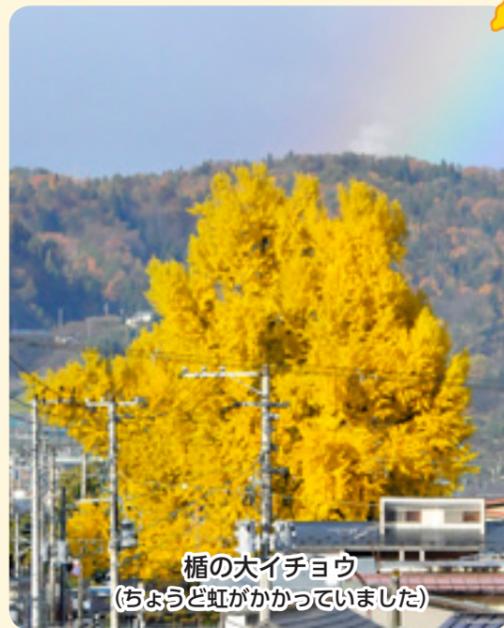
来年秋開催予定の第24回全国消防操法大会(ポンプ車の部)に、山形県代表として中山町消防団が出場することになりました。その大会へ向けての結団式が11月4日、防災センターで行われ、各分団から選出された12名の団員にエールがかけられました。今後、本番までの約1年間、操法練習を積み重ねていきますので、応援よろしくお願いします。



県野球場周辺



さに目を奪われていました。また、県野球場周辺のイチヨウ並木も、道路沿いに200メートル以上にわたり金色に色づきました。落ちたイチヨウの葉も金色の道となり、ひととき美しく輝き、通行する人々の目を楽しませていました。



楯の大イチヨウ
(ちようど虹がかかっていました)

町の木であるイチヨウが今年も鮮やかに色づきました。北小路の「楯の大イチヨウ」は秋晴れのもと金色に輝き、そばを通りかけた人はその巨大な美し

町の木イチヨウ 今年も鮮やかに色づきました